塚部隊

長

最死直前の原

他標準雨の下にかめ返に触烈な酸死を選げた飯塚部獣

○○附近では○○部隊か として新欽の勇士を廻へ下りと晴れて秋の陽ざしは爆 りと晴れて秋の陽ざしは爆 りと晴れて秋の陽ざしは爆 が、上陸の頃にはカ

近て 東陸全部を埋めず 現はした、機械用品は倉庫へ あま馬緊所に、機械用品は倉庫へ あま馬緊所に、機械用品は倉庫へ

チニコ國境モラブスカ・コアラーグ八日愛國地)七日不無、現地占據か

は盗るくやうな感激と見書かが終れば練いて上流の〇〇附が終れば練いて上流の〇〇附のでの一部が近では特別〇〇部院の一部が最近では特別〇〇部院の一部が

北支をカ

(實際土)

方地區に於てすでに六日間に

わたり頑張に抵抗し

芸師側の十一師に 二、三十五、百十

葉家集西方を必

開

陽湖より上陸、南昌に向つて「香港八日發國通」廣東より

南昌に向つて進撃を開始したといはれる「通」廣東よりの支那側情報によれば、日本

本軍は

八日早期突如鄱

と同山一帶を鞏固な要惠と化 が南方より穢いて富金山東面 の屛風の如き峻鯵に岩石及び が南方より穢いて富金山東面

新銳大兵團

升订

九月

9



て今回の訪問の終後を述ぶれ ば、首相は力強き口調で げて衷心より貴便節團の來 げて衷心より貴便節團の來

外相 兩國關係を强化の固き 訪問

であることを切望してや として高いの建 をはいと共に、使節歯は伊岡の建 として高いのをである、これを が特に强調したきことは発 が一旦友人として心に誓つ が一旦友人として心に誓つ が一旦友人として心に誓つ が一旦友人として心に誓つ に追す政治的提携に進みをされん として高いの建 をは余 をは余 をは余 をなる。とをこゝに響ひ をは余 をなる。とをこゝに響ひ をならざる余の友

を述べイタリー新聞寫真班の を述べイタリー新聞寫真班の がくて全種員は十一時十分こ がくて全種員は十一時十分こ がくて全種員は十一時十分こ がくて全種員と終へイタリー がある方輪と野意に

のこれと

子ると

で同じ目的の下に敢然と と答へ、かくて十時四十分 と答へ、かくて十時四十分 デ宮を退下、デエネテフ宮

五郎氏(會社員)八日 一世代(満航社員)可 三郎氏(清航社員)可

次定田松劇代時作特都京活日

で度は歐洲の方に現れて急、

據の强硬態度に出るのではなめ変渉の落着するまで現地占

く湧が血!!篇義仁快豪くすの胸

百 駒千龍國 代之太

愈々今晚(九 十分より H

柴禮 江龍

るを目標の海軍



十時五十分ヴェネチア廣場の 正面入口より自動車を連ねて 夢入、イタリー接件委員の先 が高大選石魔板で誤詰められ た豪莊なる大廣間に進めばイ フルよりチアノ外相を伴ひ堂 オたる步調で廣間の中央に港

和會長のメッセーデを子交し 一二首相に宛てた修好と親善 の意をこめたメッセーデと協 の意をこめたメッセーデと協

正した韓國長以下全國員は同この日協和會大禮服に威儀を任修好の劃期的會見をとげた

に到着した、このとき腹場に ずらりと堵列せる近衛歩兵儀 が兵一個大隊は摔げ銃をもつ 及び愛國歌「ピアベの護り」 を晓々として吹奏する中を韓 を晩々として吹奏する中を韓 ニー外務次官の先導で購々と大 理石階段を昇り正面墓碑の前

東書かわが軍に突破さるれば 専書かわが軍に突破さるれば の天然の となつて防鬱に力めてゐる、 優秀なる裝備となし全力を薬 優秀なる裝備となし全力を薬

瞬急酸の

!!すで嘘ばれらか儲でれて・手のこ・手のあもに賣商

篇朗明戰商代近作特川摩多活日

氏(商工會)同 一氏(同)同 世氏(同)同 世氏(同)同 世氏(同)同 世氏(同)同 一氏(同)同 一氏(同)同 一氏(同)同 一氏(同)同

1 訣祕の賣商るか儲ず必すまり限に賣商のこはに下時常非

比佐芳武

る限り代用品をもつて間に
が規調製品の新規購入を可
物類調製品の新規購入を可

九月十五日の滿洲國承認記念 本部が中心となつて種々祝賀 本部が中心となつて種々祝賀

「消費節約」「廢物再生」「儲 ※」の三大スローガンの下に ※」の三大スローガンの下に 來る十五日の承認記念日を期 して國民的「富家强國」の新 生活運動を展開すること」な つた協和會首都本部では首都 電人會館で官廳、特殊會社分 會堂で日本人分會、同七時よ り首都本部で滿人分會とそれ が、代表者参集の下に「富家 強國運動」の具體的方法につ き打合せ會を催すこと」なつ たが右實施要項は次の通りで

一、省線鮮鐵局県又は内地各 地より所定の經路に依り一 枚の乗車券にて北支へ旅行 と著驛までの手荷物の託送 を爲し得る 、小荷物に就ても同様託送 暫の手数なく内地及び朝鮮 より直接北支へ託送し得る に至つたこと

(=)

十名を

二箇月

大、運賃、運賃、車、車、車、車、車、車、車、車、車、車、車、車、車、車、車、車</l></l> おこのほど人選を終へ一扇日がこのほど人選を終へ一扇日がこのほど人選を終へ一扇日がこのほど人選を終へ一扇日がこのほど人選を終へ一扇日のこのほど人選を終れてあた。

日を

關係を現實化す

、省線—商船大連航路—滿鋪線—北支線滿舖線—北支線

小認記念日を期

富家强國

乘車券の通用期間

保險報國週間」を實施、ボスを獎勵しそのために郵政總局を獎勵してのために郵政總局

が 再生 管理制度を設立し災調 について積極的に宣傳 について積極的に宣傳 で回収での援展 のた を設立し災調 が関連での投 を設立し災調

らなかつたかゞ問題となっている。これのである、殿つたか殿くである、殿つたか殿く

地定價設置は穩富で無いが

つかまへられたが海氣を帶び が、その際少尉は曹士から殿

に賣る線にしようでは無いか といふことになつて組合長川 上蓮一氏外代表數名が九日首 繁衛生科を訪れて諒解方を求 めた、常局では書籍の外地定

所迄 お出で下さい 御希望の方は履歴書御持参にて事務

都

女接待係募集(图し內地人に限る)

きる、結局言葉の通じないこ

るやうにと題答したことに始ろから日系警官に申出てくれ 住者が全部日本人であるとこ

に要る様にしようでは無いか に、即ち十銭の仁丹は十一銭 に、即ち十銭の仁丹は十一銭 に、即の中將湯は一圓十銭

ことを見越して現在の利潤で 運動の急速な實現方の困難な 結束を固めてゐたが、右値下

交員募集

と共に全組合員

に公 ・ 宮國の磯」の標 ・ 箱を即刻 認め住宅前

はこの一割の居 にあつた不潔なず の衝突は憂ふる問題で關係當 が、いづれにせよこの種軍警 では眞相調査中である。 のにバッタリ出述 は一面居住者にも責任がある。 では眞相調査中である。

乗つての問題とて成行は注目 方を約したが物價高騰の波に せねばなるまいと傾重に考慮

和髪職人至常、代美・大

☆院

消費節約、廢物再生、儲蓄等 の背廣服又は和服の新調を 員には簡素な制服を雇用せ しめ、婦人の外出用服要は 今後一層簡素にし、防寒用 外套裏毛皮は真綿をもつて 代用せしめる には簡素な制服を雇用せ いた。 代用せしめる には簡素な制服を雇用せ のでする。 でする。 です。 でする。 を開き出来るだけ節約し、 使用を出来るだけ節約し、 使用を出来るだけ節約し、 が開度告の無別に大形のも が開度者の無別に大形のも での壊滅も節減せ は出来る限りこれを廃止し は出来る限りこれを廃止し は出来る限りこれを廃止し は出来る限りこれを廃止し

特別市行事決定

當日 開始すると共に午後二時よ の関旗の正式掲揚徹底運動 部がかねて提唱 り各分會代表が陸軍病院を許可部、内務局、日滿商事、見 年後七時半よりは民生部、 な 午後七時半よりは民生部、 な

日 に第一回職男子被山市對錦倉 公 省(午前十時開始)女子無順市 の熟職に大會の火蓋を切つた 男子

(日曜土)

大使命を負つて開催された第

出回滿洲國體育大會は新興滿 別を双肩に負ふ全滿八百の精 別中堅青年を國都に集め九日 気中堅青年を國都に集め九日 国に新設されたコートに於け る男女排球試合に依つて開幕 された、國策に應へ健康報國 の自慢に燃えた若人間鄙の意 の自慢に燃えた若人間鄙の意

體育大會

世康の秋第七多済みを日 ・ こは各官機會社を網維し三十 ・ に三協各援の大衆スポーッ第 ・ は一本が京準硬珠野球大會は ・ 本本社を催、運動具 ・ 本本社を催、運動具 ・ 本本社を開業し三十 ・ ののでは、 ・ ののでは

される、組合並に る場合は前以て通知 (雨天その他で日程 日午後一時中銀球



す

7 H

ジュリアン・デュヴィヴィエ最高作品

マリー・グローリス

五三

一般の意 嚮を打診

で表現中で廣く市民の表現のでは、

な場合及び輩間に於いて 網 れるわけで完全なる通信使命 れるわけで完全なる通信使命 が選行出来るものと期待され

本・三〇國民w語(大阪) 本・三〇國民w語(大阪) 本・三〇國民w語(大阪) 本・三〇國民w語(大阪) ・三〇國民w語(大阪) ・三〇歌内樂「絃樂四軍 が語(東京)小杉養男外▲ 中并 《定《、電業野球、午後三時 四十分、西公園 一世十分、西公園 一世十分、西公園 一世十分、西公園 一世十分、西公園 一世本浪曲大會、公會室 一世本浪曲大會、西廣場俱樂

マ旬報第一位獲得の名畵

日(土曜) 一日(日曜)

夜十時ょ

準硬球野 に三十餘組の白熟職が で三十餘組の白熟職が である熱職は本年録 である熱職は本年録 である熱職は本年録 球大會 々クラブ豫備戦から す開幕 ◆司法部對新京商梁(正午) ◆內務局對寬城子炭礦(午後 二時) ◆民生部對滿炭(午後四時) 中銀球場 中銀球場 十二日、經濟部球場 経済部球場

年後八時四十分ごろ年齢二十七、八歳位の滿人女が大同公園内池のボート経橋から飛び込み水中に苦悶しつゝあるを通行中の夫婦連れ滿人が發見意をボート小屋に通報、折柄居合せた抽木久孝氏が駈けつけて救助生命には異狀なかつけて救助生命には異狀なかつけて救助生命には異默なかった、、 1下身元捜査中であるがた、 1下身元捜査中であるがた。 1下身元捜査中であるが 狂言飛込みか

御問合せは電話②二五九六番へ

北支移住に付食道樂至急格安讓る

五富 御靴の御相談はタケヤ靴店 會葬御禮

員招

現物問屋 日 清 珍 券公債株式 日 清 珍 券

の努力

外交員募集

科本 大祭 京稲荷神社 市内曙町二では十日と十一日の兩日に亘り秋季大祭を執行する、十日は青祭で正午から、十一日は青祭で正午から、十一日は青祭で正午から、十一日は南祭で終日國家安泰、市民商な國威發揚、皇軍出動將士の武運長人の大新議會を奉修した。

CANADATA TANDA TAN

小 店 員 募 集
一、資 格 男子內地人に限る
一、年 齡 十五歳以上十八歳
一、保證人 市内に確實なる保証人を
一、其 他 身體强健にして意志强固な
右希望者は履歴書持多本人來談ありたし
版 德 會 館 内 四月 第集 中五歳以上十八歳迄 中五歳以上十八歳迄 中一五歳以上十八歳迄

賣藥も外地定價

一兩日中に發令されん 動も同時に競令される管で地 方中堅官康の間に清新の空氣 を注入するものと期待されて るる 質の様に原價が高くて 郷九層倍どころ

大連、奉天に呼應して

期生のトラ格と行ふ のよが昇格と行ふ

マプを標準に應任有 を で が大部分を占めて 様が大部分を占めて は 中央、地方の中堅 は 中央、地方の中堅

有價證券の買入れを奨勵するを奨励すると共に公社債券のを奨励すると共に公社債券の

後四時半) 十三日、經濟部球場 十三日、經濟部球場 十四日、經濟部球場 十四日、經濟部球場 十四日、經濟部球場 大陸科學院對滿洲屬書 大信洋行對滿洲屬書 大信洋行對滿洲屬書

他是一个明日限9 他们是一个明日限9 他们是一个明日限9 他们是一个明日限9

念公



成落築新



お茶と茶道具の店

電話③四七七〇番新京吉野町一丁目



ふ乞を店來御非是たし

水島道太郎 滕間林太郎

わた寢具類

0

水川

4

しくるを死去

阿部 故木

僧

一 学 名 大河百 糸 尽代

双葉 演

唄ご踊ご音樂の四重寒世界 ラムシュ トウスカヤ 堂に集る群 ・レツセネス ンを一蹴す を見よ

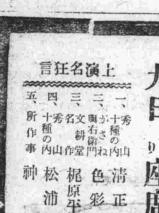
待期御



等日本の凱歌!! 世界驚異の的になった旅順港陷落 朝日×讀賣= を描いたフランスの戦争映高い中 、海に舉がる事 主

学治茶と御用は「勉強」する店」大石茶舗へ





引換開始致します

清元宗家 清元 梅 吉·梅壽 特別出演

四線の入 我も人も皆な満かれと前り幕すべき注意日かれと前り幕すべき注意日と無らずば吉日と成るべした無らずば吉日と成るべした無らずば吉日と成るべしたまらずば吉日と成るべしたまの人 柔順にして目上の言を重んずれば引立あり甲と展と丑が古。 みを能く整理する時は外様自ら順調と成る。 現とすと社が古

村松ひ谷

貞星か久

子子る男

東洋製織 滿豪毛織で 會社設立 は今回人造 を目論み資本金四十萬圓(排 社を設立、專務取締役には西 社を設立、專務取締役には西

一、航運、電影にするに、航運、電影にインクラインを東より遡江する船舶の貨物運輸はダム左、後つて航運業者はダムを中心として上流に連絡する貨物行る貨物大変では、大電の貨物を下流と下流と下流と下流と下流と下流と下流と下流と下流と下流と下流という。

各地株式市沢

配行種が不良なること 国にあるが の失業を來したこと の失業を來したこと の大業を來したこと

鴨線江水力電氣のダム築造に 大る航運ならびに流筏の障碍 対策については先般來安東航 運業者、製材、製紙業者が水 電電局と折衝を重ねつムあつ を産業維持振興の見地より誠 を重なってこの問題を研究し た結果安東、新叢州における た結果安東、新叢州における た結果安東、新叢州における

棉花統制 産業部の見解

協和會全國聯合協議會に於ける産業關係提出議案の中、棉 花統製法に関する各種の改正 大學左の如くである、改正を 大學左の如くである、改正を 大學左の如くである、改正を 大學左の如くである、改正を 要望される諸監は 一、現行棉花統制法は各種の 注目される協和會全聯議

表店、出張所を埼設する事と 制を改正し本部機構の充実を 計つたが、今収更に左の通り 思いる。 天鐵西、新京大馬路 子、訥河 、蓋平、海倫、奉 子、訥河 、蓋平、海倫、奉

だ、安心するがよい、「際何だ、安心するがよい、「際何だ?」 、安心するがよい、一體何 ばかりぢやない、慈悲深い

流筏障碍の對策決定

敵前統統後 (製造なる)

多数の最近である。 を職者を組しながらも、然して、を数の最近であるかって、決定がある。 その中で、決定がらも、然して、を数の職別であるかって、多数の職別である。 をの中で、決定がらも、然して前の見がした。所謂は強速部である。 をの中で、決定がらも、然した。所謂は強速部である。 をの中で、決定がある。 をの中で、決定がられた。所謂は強速部である。 をの中で、決定がある。 を変して、を数の職別を考さして前の最終した。 でもして、を数の職別を考さして前の。 を変して、を数の職別を表して前の。 を変して、を数の職別を表して前の。 を変して、を数の職別を表して前の。 を変して、として前の。 を変して、として前の。 できる。 で らこて、此處まで直でしたか

前のでは、 をならず、つい娘の言葉に満入り はれたここをいさ、か後嫁さ でこんな家まで、支那の兵隊 に、生命も勝って行って了ったの で、生命も勝って行って了ったの をからず、つい娘の言葉に満入り は発売さないのでございます。 でこんな家まで、支那の兵隊 に、生命も勝って行って了ったの をからず、つい娘の言葉に満入り をからず、つい娘の言葉に満入り をからず、つい娘の言葉に満入り をからず、つい娘の言葉に満入り をからず、つい娘の言葉に満入り をからず、つい娘の言葉に満して、 でございます。病人があるのに、あんまりで御 職られたりしたからたまりまで、兵隊さん達に叩かれたり で、兵隊さん達に叩かれたり で、兵隊さん達に叩かれたり

ここれをすぐ飲ませてやれ、い、気持になるだらう、病気 に来て貰つてやるから、それ に遭つて貰ふんだ、安心しろ 安心しろ、なあにまだ死にや ない、今お醫者を連れて來

様! あなた、長線さん、これは本統でございませうか! 現は難り上らんばかりの変 東京本郷一成大安安一世際一大大安安 日七十月 日七十月 月九



一白の人 物事を整頓し温 ・一白の人 物事を整頓し温 ・工暴の人 運輸強大にして ・工暴の人 運輸強大にして ・ 三碧の人 大から大と手に ・ 一般ることの演き出で來る日 こと庚と辛か吉 こと庚と辛か吉

香 衣 淳笠

子







!!

都





辛

軍全く

戰意喪失

【○○基地九日愛國涌】わが 院の荒鷲部隊は八日中支方面 一帶を蔵つた悪天候を同し地 上部隊の進撃に即題して各地 た、即ち た、即ち

黄河決潰

口を

支那軍擴

避難民を阻止す

(香港九日發國通) 南昌来電によれば、總安方面の前線を によれば、總安方面の前線を で、北部者は鶴安前線の支那 で、北部者は鶴安前線の支那 で、北部者は鶴安前線の支那

ついた、しかし日本軍の猛 の努力によつて喰止めてあるに過ぎない、目下南潯鐵 選及び徳安街道は退却する 近上と増援の兵士でごつた がへしてゐる

(-)

古女飛行場爆撃 三十五五日菱関連 艦像報道 部設表=八日海軍航空際は中 変方順にて相當不良なる天候 で同し場子江雨岸一帯の敵陣

武漢三鎮完 全に要塞化 全に要塞化

[香港九日發國通] 廣九鐵道

一 (石家莊九日發國道) 最近郷 安 人の語るところによれば、そ 大の語るところによれば、そ 大の語るところによれば、そ 大の語の西方貰河決潰口を擴大 ひを増し、東南方を指し酒々 ひを増し、東南方を指し酒々

のことである

度日本軍」の宣傳を信ぜず治 安確立した開封へ避難する民 の限をかすめて渡船場をつく り密かに避難を護けてゐると

日の大公報 は 田の大公報 は 田の大の本 田の大の 田の大の子 田の大の 田の大の

行程百里光州

に驅逐戦

ソリーニ首相と會見し

にれ薫浴 いぬ書が 学者記せ

後同六時四十五分サテルに軽者の祭壇に大花環を捧げ

ホテルにチアノ外相を御差遣 給か、入日午後七時グランド

は八日のわが海軍機の場合なった。

た、営に

陸の荒鷲部隊

終日活躍 荒天を冒

江部隊の

全一千米、流速三十米乃至四 に大震二十米、河幅七十米乃至四 で水震二十米、河幅七十米乃至四 で水震二十米、河幅七十米乃至四 で水震二十米、河幅七十米乃 で水震二十米、河幅七十米乃 で水震二十米、河幅七十米乃 で水震二十米、河幅七十米乃

意望に擴充強化され今次支那事變に際して満洲國が重 第3件人軍の國境防衛の鐵壁陣は支那事變の進行に伴ひ 変體國たる支那側においては日滿國境防衛の北端持久 軍の質力がソ聯赤衛軍の極東勢力に比し遙かに劣勢な を體國たる支那側においては日滿國境防衛の北端持久 を體國たる支那側においては日滿國境防衛の北端持久 の質力がソ聯赤衛軍との二大對立勢力は支那事變初發以後たまた 第3件人軍と極東ソ

における意見を綜合すると左の如くで部滿ソ國境方面をつぶさに視察したが東軍副者俱樂部では八月中旬より九月

黄河隔て

集中砲擊

過海線

鐵橋

ソ軍の勢力を完全に防封 IL III 北満持久軍盤石の備 朝 44

SIII

葉家集西方の 敵退路を遮斷 「〇〇八九日發國通」黎家集 より雜發し曾家店子、羅子臺 を大々に席卷したわが有力部 をは七日暗夜に乗じて方家集

に一大衝 地田は薬 地田は薬

佛領

印度支那の

した、わ その南方 た、わ

港の寫眞撮影

光二次競馬

@秋季

【頁二十刊夕朝紙本】

HIHUUHIHUHHHHHHH 代金不拂 を最盛期 を最盛期

軍を呑むの機があり、一方ブリュッへル將軍を總指揮軍を呑むの機があり、一方ブリュッへル將軍を總指揮軍を呑むの機があり、一方ブリュッへル將軍を總指揮軍を呑むの機があり、一方ブリュッへル將軍を總指揮軍を呑むの機があり、一方ブリュッへル將軍を總指揮軍を呑むの被派があり、一方ブリュッへル將軍を總指揮軍を呑むの機があり、一方ブリュッへル將軍を總指揮軍を呑むの機があり、一方ブリュッへル將軍を總指揮軍を呑むの機があり、一方ブリュッへル將軍を總指揮軍を呑むの機があり、一方ブリュッへル將軍を總指揮軍を呑むの機があり、一方ブリュッへル將軍を總指揮軍を呑むの機があり、一方ブリュッへル將軍を總指揮軍を呑むの機があり、一方ブリュッへル將軍を總指揮軍を

(國權益濫用に

はルンドン八日登園通」では水泡に顕すると「飲たとし一自己の努力もなっては水泡に顕すると「飲た」とし、自己の努力もない。 では水泡に顕すると「飲た」という。 では水泡に顕すると、 でラーグにあるる。 では水泡に顕すると、 ででは水泡に顕すると、 ででは水泡に顕すると、 ででである。 でである。 でである。

韓

團長

授)九日來京ママトホテル ● 有近輛突氏(旅順工大教授) 國都ホテル 一 宮館男氏(天日本ビール) 一 一 宮館男氏(大日本ビール) 一 一 宮館男氏(治安部)同 ◆ 祭谷二男氏(満洲鑛山)同 ◆ 祭谷二男氏(満洲鑛山)同 ◆ 祭谷二男氏(満洲鑛山)同 ◆ 祭初時介氏(國國會常務理事)中央ホテル 男氏(大日本ビール) 男氏(旅順工大教授) デル 大田本ビール)

し騰暴々日は價物

つ 三世陛下には瀟洲関使節團かえ 一一一三世陛下には瀟洲関使節團かれて 一一十八日友松関通野派員

(新京支祉) (北京支祉) (北京支征) (北京安征) (北宗安征) (

敍勳の御沙汰 韓團長以下に

買おが今は

ラ卿苦境に立つ



適用せらる、我々は七年間の を全と支那の完成は世界平 の上に同等の重要性があるが、歐洲の政治家の領域 が、歐洲の政治家の領域 が、歐洲の政治家の領域 が、歐洲の政治家の領域 が、歐洲の政治家の領域 が、歐洲の政治家の領域 が、東州で限らず全世界に である。、我々は七年間の である。、我々は七年間の

記に經驗ある日 人男子

山澤も品庫在らな今 るへ買に安格が品い良

、すまち落も質品少多りなく高も段値は後今

上意下達、下意上達といひ、 上意下達、下意上達といひ、 東はしい言葉のみを以て満足 すべきではない。大事なのは その實際なのである。空疏な その實際なのである。空疏な が肝要なのである。これらの が肝要なのである。これらの が肝要なのである。これらの

者」と「一民族、一國家、一指

不自然な「人造國家」が歐州 下和の癌とならうと誰か豫期 りで我々はまづ問題の國チェ りで我々はまづ問題の國チェ

らう!、歐洲の危機と恐れら これだ、歴史的な獨墺合邦を したヒトラー總統は誇らかに ルガだ

である、二十年後の今日このである、二十年後の今日このである、二十年後の今日このである、二十年後の今日このである、二十年後の今日このである、二十年後の今日このである、二十年後の今日このである、二十年後の今日このである、二十年後の今日このである、二十年後の今日このである、二十年後の今日このである、二十年後の今日このである、二十年後の今日このである。

を有するスロバーク人と合一 して玆にチエコスロバキア図

を有するスロバーク人と合一エコ人が人種的に密接な關係

トラー總統の音楽のみ

チェコスロ この

次に同國の知

所属するのだ」 所属するのだっの同 に動行されればなってさる。 ないるのだっの同 にかってさる。

ラーの胸に描かれた大ゲルマターに過ぎなかつた若さヒト

大いに活用しやうとすを示すに至つたものとはれるのである。わればれるのである。わればれるのである。わればは豊徳達情といふ

(日 曜

愈よ紛糾する

張慰問使南總督、

中村軍司令官訪問

國民が滿洲國

チエコ問題

キア人か約九百萬、ハンガリ この外チエコ人、スロヴァ この外チエコ人、スロヴァ

獨立國としての

いふ如き意見が起つてゐるとに任期を定め常任制とせよとに任期を定め常任制とせよと、 いる如き意見が起つてゐる。代

ざく 全聯に持ち出したりし 決出來ると思はれるものをわ も地方の當該機關によつて解

的な問題を長々と論じ立てた

る。たとへば極めて局部

憾とされる點もあつたと思想はまさしく上記の通りで想はまさしく上記の通りで をが、實際にはなほ若干の ではなるであるが、實際にはなる。

並

說

(二)

政府及び協和會に關する色々本部長からは代表者に對して かけさしも廣大な會場は埋もるばかりの盛況であつた、先 内公共體育場で舉行された、 この日張家口の空は朝から澄 な渡り市内は戸毎に日、察兩 関旗を掲げ、民衆は手に (小旗をふりたがら續々とつめ のもとに一萬餘の民衆参加市 ・ 保大會は八日同市商務會主催 ・ 保大會は八日同市商務會主催 ・ 保護・ で表明する建家口市 ・ 保護・ で表明する建家口市 ・ である。 ・ でる。 ・ で ついで市民代表ダ々起つ||曾奢韓商務會長開會を宣||かりの盛況であつた、先

雅魯河流域に

根岸滿映理事けふ北京

依頼された金百弗を陸海駒海軍の恤兵金として下さい

催し貸切バスにて新京の東方

八百年前)開國

が軍當局では一外人の多額の義金を送つて本

大震災の時に

訪ね更に公

理を満喫して歸上嶺に廻り同地に

の功臣たる ある金朝(泉亞永遠の和平樹立に河嶼蔣政權を徹底的に打倒

進せよ と叫べば會衆はこれに和して 打倒蔣介石を網叫する、かく て決議宣言の後蔣介石下野勸 告の通電を發し大會の幕を閉 がたが、引續き會衆はトラッ り隊を先頭に反蔣デモの行列 天津中京百貨店で又も爆弾騒ぎ 要安嶺が最近各方面の探險に はつてその無灩蘂の資源を設 見され最近巴林、博克圖の近 が変流れる雅魯河の流域から た、すなはち墜石の驚異的大鑛 上た、すなはち墜石は現在日 上た、すなはち墜石は現在日 上た、すなはち墜石は現在日 上た、すなはち墜石は現在日 上た、すなはち墜石は現在日 とで南米からの輸入に仰いでる を南米からの輸入に仰いでる

すと損害額は約四百萬圓に違流水家最或は牛馬の流出を合 中央部と折衝

をいはれ、分析の結果は七十 密調査を行へば埋蔵量は更に 多額に上るものと豫想されて のある も家屋五百戸、牛馬八百頭ゐる、また牡丹江省東寧縣

濟策に就いて考慮中である達するので政府ではこれが救

義勇消防隊

基督教青年會員 史蹟探勝

日曜日を期し史蹟の探勝會を 新京基督教青年會では新京交

後て月滿支映畵界に注目の的となつてるる北支並に上海のとなつてるる北支並に上海のは、滿映場會社設立問題に関しては、滿映根岸理事が中心となったので同氏は山梨總務部長を帶同、十日午後二時十分發をで出京へ赴くこと」なった、なほ最近日活より滿映北京出張所長に轉じた福田榮北京出張所長に轉じた福田榮記引張所長に轉じた福田榮記引張所長に轉じた福田榮記引張所長に轉じた福田榮記引張所長に轉じた福田榮記が成る。根岸理事は語る 北支及び上海における新映北支及び上海には現しようと思つて急速に實現しようと思つて急速に實現しようと思つて機関との打合せの爲で本月機関との打合せの爲で本月機関との打合せの爲で本月機関との打合せの爲で本月 新 京

局易斷

(短期)

다. 라이

和收した、犯人は未だ逮捕されないが七日の天津小學校長 和歌事件一味の抗日不穩分子の仕業と見られてゐる 清防ボンブその他設備をして 連に、延吉、関原の各省に新 たに義勇消防隊を設定せしめ たに義勇消防隊を設定せしめ たに義勇消防隊を設定せしめ たに義勇消防隊を設定せしめ たに義勇消防隊を設定せしめ たに義勇消防隊を設定せしめ たに義勇消防隊を設定せしめ 八萬圓、牡丹江五十萬圓
現在通り市公署の管轄となし
現在通り市公署の管轄となし 北支、上海兩映畵會 急速設立意向

の總意を表明

して營業を 断一丁目へ は業務擴張

日本人會長は母國陸海軍【東京國通】中山ニューヨ

意を表するため歸國中

支店開設 ^{株型}

所在地警察 に営るべく を明らか

陸海軍に獻金

前

絕

後

0

壯

擧

紐育在住のチ氏

は電々放送課岡田田東京の豫定で會費一人五四

かにすること」なって近くこれが法的根 二ケ所に停車する豫定 ・ 一大五圓、希望者 が送課岡田氏(二一五 が送課岡田氏(二一五 が送課岡田氏(二一五 が送課岡田氏(二一五 が送課岡田氏(二一五 が送課岡田氏(二一五 が送課岡田氏(二一五 が送課のでいる。 でである、定員廿名の

國境事件の折衝 **圓滿に進行す** 新京取引市况

寄

東京一学車

讀

に織けられてゐる 題が残るのみとなつた、モス ゐる (使とリトヴイノフ の一致を見、たゞ委員數の問 實上解決したに等しいと見て(後者置に関する折 定委員會についても略々意見 行ぶりに徴し張鼓峰事件も事 七日蘐國通】張鼓 が、交渉は順調に進み國境劃 クワ外交界では交渉の側満進 士十九八 士十九 先 月月月月●月月月●物 限限限限高限限限大 | | | | 梁 | | 量豆

愛るは委員數

手形交換点(九日) 中人二、四中人、中中

すったものである、チュコ國はル 良質の陶土、石脳油の外少量 大は歴史的に見て古來チェコ 舊オーストリー・ハンガリー 方は歴史的に見て古來チェコ 舊オーストリー・ハンガリー 方は歴史的に見て古來チェコ 舊オーストリー・ハンガリー ある、これらの地方に住むチ 獨占せられてゐる觀がある 別占せられてるもし、 ストリー・ハンガリ

手も屈せず政雄の後を追い南京城内にて政雄に抱かれて傷く介抱する事も出來ず進む南京が落ちた時にイズ京政撃の際イズミの飼主の息政雄の乗馬となる併し敵なの競馬にて優勝したミスイズミは軍馬として徴牧さなの競馬にて優勝したミスイズミは軍馬として徴牧さ

販賣致して

居り

ます

関係は極めて密接であつてこの駅チェコの對獨関係悪化を 考察する場合重要な點である と思はれる と思はれる である。 と思はれる である と思はれる である と思はれる である である である と思はれる である と思はれる である とこふに常置の師園は十六ケ である とこふに常置の師園は十六ケ あるものと推測される

今明

愈

每 日限り

於 日赤平金 廣場端 木本泰 洋洋洋洋 行行行行行 俱樂部 各日 滿百 山百 理髪 貨貨 店

物

天才少女(十一才)





春







京

女流浪曲の Щ 覇者 量

日本一の滑稽讀

呂

關東浪曲の權威

日 曲 王 井

文藝浪

天才少年(十才)

雲

日井

H

井

=

員券は左記各店にて 會員券 入場料 金二 金 一圓五十二 錢

實久 Ξ 百貨店

酒井雲新

開

主催

古抽障码

第七日日は愈々明日の優勝戦 常七日日は愈々明日の優勝戦 大の出国を獲想せられるから 油に乗るファンの選罪を期待 油に乗るファンの選罪を期待

一种古二、

内米

らうが若い女性の方ならば勿から老人や幼兒には無理であ

入満の貨客制限

常な關心を以つて迎へら

への慰

俳塊から非

保健司防疫の萬全を期す

は、済州國に近接してゐるので安 は、東檢疫所に對し同日直ちに訪れる。東檢疫所に對し同日直ちに訪れる。 東檢疫所に對し同日直ちに訪れる。 東檢疫所に對し同日直ちに訪れる。 東検疫所に對し同日直ちに訪れる。 東検疫所に對し同日直ちに訪れる。 ではこの調査に基き朝鮮

地で行程約九粁、前方に新京へなつたもの、水郷洋月潭と遺になり一瞻有名となったもの、水郷洋月潭と遺いなったもの、水郷洋月潭と遺いなったもの、水郷洋月潭と遺いる。

前方に新京

四時新京購着の独定で秋一日であらう。

事會を開

線の魂

事會を開いて協議を進めてゐ 會に依囑、目下振興會では理 て大樂氣で早速國際文化振興

ハイキング案内

細川觀光協會主事

に下り山を越え部落も過ぎて 小強から眼下に浮月潭の大貯がある、この間中食をすましがある、この間中食をすましがある、この間中食をすました。 アイカーない ものがある、この間中食をすました。 アイ後三時バスで同地愛午後

石碑嶺 淨月潭

一新興滿洲國の將來を擔つて立

京少年陸上競技大會の結果を九月四日舉行された第一回新

の知れない。

で見えなかつた 双これ等を見るm の忠告をするです

を表していて、 を表して、 をまして、 をもして、 をもて、 をも、 をもて、 をも、 をもて、 をもて、 をも、 をも、 をもて、 をもて、 をも、 をも、 をも、 をも、 をも、 個した目的如何と問へば、如何にも正々堂々若人の體育のいのだらう。この競技會を開

の動作も又實にだ き彼等(競技審判員)

中不必要なピストルを鳴らす 姿をして休むとか云ふ様な事とか、グランドの眞中で醜い ルを鳴ら に大なる障碍を興へるもので されるならば、満洲國の進展 断標な競技會が將來尚も續行

基金募集は七日

卑慰問袋作製

日を以て大成功

れる事とか

慰問基金

基金 日線國通」 アイレスセから 「ブエノス

から

暹羅の親日ぶりを語つ 經で故國に發送された。

生

△賽精胡同政府第二代用官舍 二六號伊地知敏次女順(七 月十九日) △長慶衛義和路六○一電々社 宅九號五渡邊綱長女初校 (七月四日) △與安大路陸軍代用官舎六四 就近安大路陸軍代用官舎六四

Ċ

平生虚弱で食事の

17

★何故をんなにヨク効くでせうから

進まぬ人と病後衰

ありませんが、何かの

日政十二萬四百六十六件、一である、而して今年度累計百八十二萬二千九百二十五百八十五萬二千九百二十五 川三件、保険料額一中の實績は口敷一萬

職友の墓標を洗ふ暑さかな 香西清一上等兵 終兵のそばろ歩きや月見草 鈴木久雄上等兵 鈴木久雄上等兵 選一千八百七十二関 第百八十二萬二千七 瀬百八十二萬二千七

にしてゐるが長距離を案外走の覇者である、たな電量を苦の覇者である、たな電量を苦います。 ランシスコ萬國博 雄々しき魂の ろの強豪、ゴ っす一職と見られる。いらうからレースは れるは

苦にせず我慢が出來るか

(出 職 土)

いいではある。
いる場合は
では
で
で
で
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
と
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が
が

スは大體高度二百五十米乃で直ちに石碑嶺に向ふ、コ

保健司では發生地帶が一來たものと推測されて

黄海、平安南兩 道におけるコレラ指派 道におけるコレラは漸次指療 道におけるコレラは漸次指療

萬國博で紹介

を

期してゐる

亡した、なほ當局では競生

足は競生地では一般似四名

慈無きわが既太く秋たちぬ 職友の墓標新に夏日燃ゆ 市田伸次上等兵 病院の庭も嬉しや松薬杖 病院の庭も嬉しや松薬杖

募集成績良好

郵政生命保

險の

だから本命は瑞陽であると云つでもよいところである 穴馬として油鰤の出來ない事を特能して置きたい てメッキリ好調に乗つてゐる 中変既舎の瑞陽は二次に入つ い事 著しきものありとしても故障である。 と云 ことを約束されてゐる、二次、三次の三季連續の優勝を樹立すると云 ことを約束されてゐる、この
は見當らない、二次、三次
の三季連續の優勝レースは大 でもない限り先づい 先づ物になるま

興味津々たる

秋季第二次優勝戰の下馬評

優勝の覇権何處へ

ならば岩駒に打**乗**られる騰 る馬である、殊に雨馬場と

新△

US

表音完第二、 至 章 英 章 英 章 英 章 英 章 英 章 英 章 英 章 英 英 章

弱 ののの

小

大版京町県·名古屋製小路通

資特許

★色濃よし、特ちよし、便利商量、日本一ぬれつばめく 四つ五つキットお若く、別々した自然美の美しさ、あでやかさる そ、ぬれつばめでお染めになつた方の絶費で感激の度です。 そ、ぬれつばめでお染めになつた方の絶費で感激の度です。

回復期のの 0

むだけ する

音二 青谷來古 **仙旭飛功成駒**

五宝空天宫至八 久池梶久田內〇 保部 保田原田井田米 井田山村田本田滿尾原米 落新田〇〇 合原非米

します。

0

は、元氣よく働く事が、こんで血行をよくいた 出來ません。 そ 體の人が、滋養 うした弛んだ身

すると、恰度、脱され まね人、病後衰弱の人强肚劑の養命酒を愛飲 胃腸が悪くて食事の進 だから、日頃弱く 又は貧血ではい婦人な

發賣元養(命)酒本(補出)張所 電話 羅谷二八四七番 電話 羅谷二八四七番 **懒造元養命酒本舖天龍館** 信州上伊那那南向村大草 店にあります。 店貨店、食料品

お髪の美しさ!

初秋にふさわしい、お上品なるなは、先

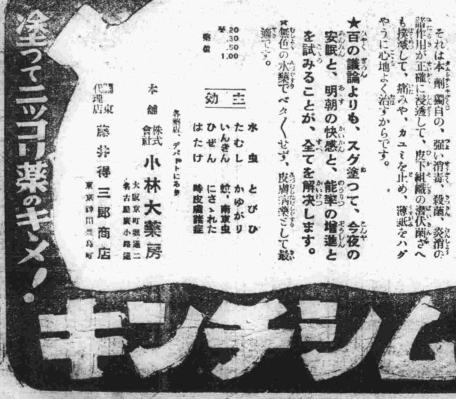
青春不滅

チュープスで国十 * -----

としてしまひ、是には「性のま、含有されてゐやうなもので、ダラリ「草の精分が酒の中に活をはづされたる弦糸の」る薬草が合醸され、薬 ると、恰かも弓の片端を初め、幾多の貴重な調子で、身體が弱くな てありまして、人間で「身體に、じつくり浸み矢が番はれないと同じ」ますから、飲んだ人の

こ] の養命酒には、

無色の水薬でベタノ ¥ 20 .30 .50 1.00 代調用 はひいた水 たぜんむ けんんし虫



かと疑惑を抱いただらしがない 體的、精神的に及ぼす悪影響却つて不規律な一日の爲に肉 果して向上するか。 十数句の句例は漁助、吉澤蕪 わが勇敢なる將士のこのこま やかな臨術精神に傷病兵達は をかな臨術精神に傷病兵達は

院料額十四萬二十二百八圓、 保險金額一千八百四十二萬三 百十二圓で創始以來の成績は 百十二圓で創始以來の成績は 日数十四萬四千五百五件、保

千五百七週の巨短

一新に上つてゐ 一百二十六萬五

宝に家心に堪へない。 出導者の冷静なる反省とこの 競技會の目的に即應する為の 最大なる努力と、出場選手の 運動精神の發揮である。而し て健全なる耀進を續けて居る 満洲國と歩調を合せなければ 選羅の親日熱
伊藤總領事談
(門司國通) 盤谷県在帝國總
(門司國通) 盤谷県在帝國總
の西買丸で舞朝、神戸に向つ
たか

選しようといふ話しが起きて と紹介するため日本の古典 を紹介するため日本の古典

だその他の野菜類など色とで耕された田畑には高粱栗

~に風景絶住「秋實る」

ペ國元首來朝 日本文化研究に B

日) 本長慶傳義和路電々社宅二號 八七友永勝長女美那子(七 月二十八日) 一旦安大路陸軍代用官舎六十 二號加藤直一三女榮子(六 月二十九日)

【東京國通】戦線勇士のもの

句 0

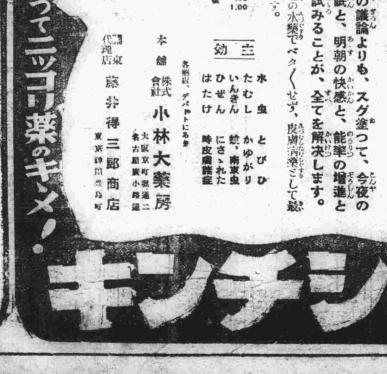
傑出したものが相當多歌、俳句等に戰爭藝術

が相當多

種々の計畫が進められてゐる 流、近く日本に到着ベルー經界 の大立物元首相リバーゲロ は日本文化研究のため九日リ マ出帆の商船樂洋丸で日本に る郵政生命保險募 △入船町四丁目三番地松村極 美(明治三十年七月一日生)八月二十三日)八月二十三日)八月二十三日 ○大經路一一〇號鼻崎俊企、 (昭和十二年九月五日生) 八月二十一日 本習雲南街三號山崎敏子(昭和十二年十一月十日生) 八月二十四日 本門雲南街三號山崎敏子(昭和十二年七月二十七日生) 八月二十四日 本門第十二年七月二十七日生) 八月二十四日 本門第十二年七月二十七日生) 八月二十四日 本門第十二年七月二十七日生) 八月二十四日 本世史 八月二十三日 本門第十二年七月二十七日生) 八月二十三日 本北安路八一四號林田四郎、 《明治四十二年四月十五日生) 八月二十一日

集成績は國民貯溶災駒運動

人に迚もよい





にすれば石鹼分が早く

線

脚気のため 顔さ足が腫れる 顔さ足が腫れる りで脚氣に罹り食物等に注意 りで脚氣に罹り食物等に注意 りで脚氣に罹り食物等に注意 く足と餌が腫れて参りました 如何すれば良くなりませらか 対療法と薬を新聞紙上にてお

羽織や着物の色を 染める時にも御注意 く腿せさせる は

脚氣によく効く

皇漢藥の處方

是非試してご覧

加伏がよろしい。

反對に日光にあたることの**総** 當る用途のものや洗濯を**度々** はならぬものなどは一般 常る用途のものや洗濯を**度々**

はなえなくても病人自身は たにはみえなくても病人自身は にはみえなくても病人自身は にはみえなくても病人自身は をものです。脚氣が及ぼす非 をものです。との病氣は人 があるとたいして思いやう がら見るとたいして思いやう

た。二切、伏令八グラム、生姜 非 &、桔梗三。五グラム、生姜 は グラム、木瓜四グラム、吳朱 は グラム、木瓜四グラム、吳朱

(代) ち白ですが、これ (色) ち白ですが、これ (単紫外線の為に、 も紫外線の為に、

▼…皇漢法には脚氣に神効を 要する方劑がいろ (ありま 要する方劑がいろ (ありま でなつて間違ひのない處方を 一、三お知らせしませら 九味檳榔湯加吳伏、檳榔二ガラム。大味檳榔湯加吳伏、檳榔

子供の防護圏・デオスケッチ

姜二切、吳朱叟一・二グラム、朱香○・六グラム、生草二・五グラム、樹皮一・五グラム

ですから専門家に頼むより仕方ありません、家庭で済む程度ならば絹物や毛織物は濃い 殊濯液をさけて 微温湯にアル サーベル の少いマルセル石鹸を カリ性の少いでんところをよ 月くらる連服してごらんなさとが四合半で三合に煎じ毎食を水四合半で三合に煎じ毎食を水四合半で三合に煎じ毎食

の内に整理

夫々洗濯法が違ふ

知らせ(大連)知らせ(大連)

九、二五建大の一人、二五建大の一人、二五建大市沢(東京)九、三〇経済市沢(東京)一〇、〇〇家庭講座(大連)が成れ、一工等の使ひ方満人ボーイ等の使ひ方が、一五料理飲立(奉天)

で衣服の整理を行ひませう、 で衣服の整理を行ひませう、 で衣服の整理を行ひませう、 で衣服の整理を行びませら、 で衣服の整理を行びませら、 で衣服の整理を行びませら、

→ 外出 管の一、二度循 いたタオルの間にはさんで汗 いたタオルの間にはさんで汗

交換すべきも

0 か

はなりません。併し の人に名刺を出しても失禮に の人に名刺を出しても失禮に なりません。併し

はどう

なく夏の衣類の始末を 中々衰へを見せません

温湯の石鹼水で洗ひます。

汗に~對する手當が一

ておくことが必要です。 しいきなり名刺を出さぬこと でありますから、それもの得 ないこと

地位の 高い人に對して

(東京) (東京)

九、一〇殿場

屋のなかかり

ひたし

盧溝橋畔より中

一〇、三五家庭メモ(奉天) 一〇、四〇經済市況(大連、 新京) 組強告(新京) 説(東京) 説(東京) ボニュース、告知

○※※○ ・ 三五經濟市況(東京) ※※※○ ・ ○一・ 整の演響 ※※○ ・ ○一・ をの演響 ・ 五九時報(東京) ・ 土曜コ ** サート

満の時間(哈爾

田中(畫)

○※※○ 操、入港船のお※下子※ 六、三〇ラヂオ體※下子※ 六、三〇ラヂオ體 ふの番組 一新京 放送局 一新京 放送局

告知事項、番組 二本(東京) 二階堂一種

歌謠(大阪)

ケストラ 水 野 康 孝 水 野 康 孝

営興工式々の ままり中継 会に就て宮廷造 会唱及管絃樂 会唱及管絃樂 会唱及管絃樂 会唱及管絃樂

早間には 西市況 ローユース(東京)、来 式典、質泥の時へ、市況、ニュース (奉天)(野球・一ス(鮮語) 廷御造營敷地よ **建造管興工式**々 小 澤

を用ひて害虫から衣服を救ふ たまタンを主刺とした防虫剤 (答) (答) 額や足が腫れる病のではないかと思ひますから文面支付を申し上げる事は出来まで病名を定めその薬や治療に立ては九月一日本紙がります、特にないかと思ひます、特にないかと思ひます、特にないが詳細に回答がよび、特になける事は出来まがは脚氣になるに申上げる事は出来まから、特になるに申上げる事は出来まから、特になるに申上げる事は出来まから、特になる。 學「開家」」」という。 「他康診」」という。 「他康心」」という。 「他原本」」という。 「他原本」」という。 「他原本」」という。 「他原本」」という。 「他原本」」という。 「他原本」」という。 「他原本」」という。 「他原本」」という。 「他原本」」という。 「他事本」」という。 「他事本」という。 「他事本。 「他事本」という。 「他事本」という。 「他事本」という。 「他事本」という。 「他事本」という。 「他事本」という。 「他事本。 「他。 「他。 「他事本。 「他。 「他事本。 「他

願ひ致します

▼…またやゝ進んだのはつぎ 宮球場より S

77洋森

容器に納め保存中温氣を吸收 でで洗ふのがよいでせら。洗 ででは柔かい毛のブラシを用 ででは柔が出来れば十分に乾燥して

〇〇經濟市況(大連、 京大學野球聯盟

り中継= 新









れてものを累積するといふる量的所産に因るのでは決して價値の存 をはならない。價値は單なる量的所産に因るのではない。

取ることである。 電に云へば外界の印象を受け 単に云へば外界の印象を受け 取ることである。 間之が自己以外より取得する のである。 のである。 のと簡単に云へば外界の印象を受け

本北支那經濟通信社、五十仙)、中等、天津日本租界受賞・十二等、天津日本租界受賞・十二等、天津日本租界受賞・十二等、天津日本租界受賞・十二等、天津日本租界受賞・一次の途」

三省堂製本所

オ衆向大衆向

帳簿

溥專門

監修三三三四番

樂生堂H S 線線原

るものでない。 真質の活動即ち進步を意味す

我の意識である。別である。別であるが認識の働きをな

熾烈な朝暾曲を仲間に傳ふ 友の遺書をぼつりぼつり讚み始め 何にも識らない太陽に顔を洗ひ 麋席の中から目醒た乞食は

Sal

婦人之友」增刊

を推奬す

した快よい

しての形體を備へや

ビルデイングの最根が凛烈だ 晴れ切つた空に夥しい雲が創進す **茫漠たる亜細亜の平野が凝結し** 黎明の底を荒くかい潜り

電話③五六六九番電話③五六六九番電話③五六六九番

中小商工金融

輕便迅速

東省實業株式會社

本社 新京特别市大同大街四〇六號東 拓ビル内(電2四九一七)駐在所

泉温劇

取職の在世時代に於ては彼等の思想、生活態度は今日の言態度であつたらら、換言すれ態度であつたらら、換言すれ態度其自身こそ反つて不調和態度其自身こそ反つて不調和であつた。否當時の思想、生活態度は當時に

表作として恥かしからざるも あつて、ほとんど日本各低の 一流を網羅し、夫々近作及代 一流を網羅し、夫々近作及代

第三回

東都、汗

とは當然我を働かす

展覽會を觀て

は見當はつい

に騙するものもある。私をといい。相變らずの質問だ。間には質問の域を越して詰問の部は多いらしかけてゐる人の數は多いらしかけてゐる人の數は多いらしかけてゐる人の數は多いらし 上の事に終始するのだから参

一日とちつとも變らぬ。寧ろ 第二日目の方が混んでゐるや 第二日目の方が混んでゐるや が、『今朝程から何遍もかけ

ものは光つてゐる。その他の郎、林重義氏、山本鼎氏等のは光つてゐる。その他のしてなぢみのある藤島武二氏

碁狂に代りて

狂

を職としてゐる者で雄辯術にしまった。それも少しはやだから逆上せておまけに疲れだから逆上せておまけに疲れ 頂いてゐるから其の術に長じ

は結論をつけると『では何と

(可認物更單種三第)

話機を抱へて壁をはり上げた上衣をつけて、椅子になぞかけて、椅子になぞか

一和昭

もない積んだりやのとことまです。

これをしくとつちめられ つもりだ。から一遍脳のいゝ加減の細工はしてゐたのだ。とつちめられる る特殊性があるといふのだら かる。参らざるを得なといって参 下にあつて参らずに頑張りつ 下にあつて参らずに頑張りつ

も致し方のない事で……」 を質はねばならぬ、怒らさせいてさて電話にかゝ

に 大體に於て似通った事に関する。 つた。つまり大衆はどういふ ういふところに不滿をもつて あるか、ど 列を望んであるか、ど 大衆の傾向を打診し得たので まった。

話かすことである、而して活動の統一を云つたものに外ならない。 気働くといふことも同じく知ることは我が知るのであ

とは我を知る

意味に於てはものを創造する ルグソンの言葉は此の意味に活動することであといへるべ

世界ではない。従つて此等の心得る世界は其の機制和ある。 関をいふ、我々の經驗し認識

定然資物土建材料運搬 觀町五丁月六 トラックの御用は

謄寫・代書

タイプ印書

電話3二三八七 金融

夏物大旦切 益豐質店 三笠町三丁目 - 五 第3二七七七五

率天事務所 率天浪速

新京事務所

新









筒箕真調製にも應ず 般測量及製圖 鑛業法二依 Jν 正規製圖並出願手 新京八鳥通四四 社長 土方龜次郎 電話息③六〇四七番 所張出京新 全量(3)電 九三 y通央中

責任出願

電話(3)三五九〇

悠灸

壽司米

炭(吉林白小山

何も私の卓上の電話だつて他 一向さし 努力を拂つて來られた兩氏至つた。この間相當の犧牲 今年で三回を数ゆる

少なくとも満洲國の美術文化ならない。この人達の事業はなければ

動は伴はない。 働くこと、活動することは ふことには働きや活 とゝ活動する爲には

家の代表作を一堂に展現するればならない。かく日本美術ればならない。かく日本美術

然し單なる智識體驗の累積は

(日曜土)

この便宜は在滿美術家の

将來の思惟の積極的活動を意ふことである。置ひ換へればすれば將來の思惟が働くといある。

當的の認識である。此の認識 の言葉で云へば客觀的者遍安 の言葉で云へば客觀的者遍安 を要求し得る判斷である。別 求のみにあつた。然し乍ら此学架の犠牲は只此の調和の希

サック 風化し易く用 第1年 の 百貨店 第1年 の 百貨店 補野ビル氏 内電3六七〇九番を枝町一ノー四概業紹介所へ

◇あんま特設

△寝 小

清水堂鍼灸院

舞踏3六七二七彩

八、耶蘇十八此の調和

の調和は佛に在りては慈悲、

基督教に在りては博愛の言葉

トラツ

クに依る

大運和搬

人和運輸公司 門越及建築土木村一般 開(3)六本の八 開(3)六本の八

新京学中街

新京まで前 白金·金·銀高價買入 横濱屋質店 東二條通二十五番 (5番 : 西七七萬等 ◎婦人病

去現在を思惟することであ

世界の随所に不調和の存在を でる為の不調和であると思惟 であるのである。此 であるのである。此 **崔廸と存在價値とを認識し**

がお職業紹介所へなくな子専門)の 電温 三九〇

電話及

ある。進歩とは或る意味より然に射來の思惟に備へる爲で、過去現在を思惟することは必

友斯コンロー

> カメラ修理 新京鉄座 電話次第配建 型(3)二七月七

ナンヨナル

能融即時・長期秘治 連たアタマ金でお買入が出来ます

商品券の賣買も強します

選券で 表し 魏

制新国洲

新京祝町三丁目 南廣場與銀橫

を果した時、即ち累積が他のの價値とは累積が累積の役目

の認識 外交員を求む地人に限る大経路ルル 湖洋 行地工歳以上卅五歳迄の内 大成組建③一三六二和田へ場所櫻木町四の二六

みどり茶園が京吉野町17日

其れは丁度知が行 深町醫院隣

お茶さ

るものとして得難いものである。運送その他の不便の爲め 大作は見られないが三十號大 のものから小品に至るまで、 相當網密に集めてゐる酷は兩 相ごのとして得難いものであ 思辨的斷章 新しい展覧會場が是非設備されてほしいものである。 (寫眞は中語のである。 (寫眞は中語のである。 (寫眞は中語のである。)

青陽ビル前西 200 泰山 書院 電景 高光 個 報 多 上 元 現代社

宋松接骨院 中央通り

海陸運送 新京三笠町二丁目 進 发 店

於軍大臣指定軍火 大臣指定軍火 大臣指定軍出會議 (本學) 大臣指定軍出會議 (本學) 大臣指定軍出會議 (本學) 大臣指定軍出 (本學) 大臣指定軍出 (本學) 田小

〇劫つきて吾もし死なばあの世にて 風のとりゆく樹々のもみち葉。 落葉 閻魔對手に圍碁を挑ま の我で サ級ペンギン 一物 六三 紫雲社 済者共に本會へ 白疆會

> はなつざ 古光堂療院 東上線與交響前 東上線與交響前

特効薬安心散 特効薬安心散 解 節 炎、神 經 編 清通町二丁目十八番地 一大 堂寮 院



原 特法許律

甘黨

今辨慶整骨院 ほねつざ タイピスト 管部タイプ 総合 教授 大學 館 時 管部タイプ 総合 教授 大學 館 時 電部タイプ が合 教授 日藤タイピス、學院

郎、石井柏亭、青山藤雄、田郎、石井柏亭、青山藤雄、田 参至、伊藤巌氏等のものは夫 を近作であり代表的のもので あり流石に堂々たる賞祿を持 あるがこの人選いづれを見て郎、山本鼎氏等の二十三氏で 一流の人々である。 殊に中 野々たるところの **僧宮一念、田邊至、寺** 高間惣七、

日本畵

は國都新京の體面からしても 選挙校の講堂であつた。第二 関は康徳三年で今度が三回目 である。願はくば第四回から である。願はくば第四回から

然しながら其の我

「常洲堂で係る

日本橋通田本橋通

ものを創造することは已れ と他とを判然認識することに 依つて得られる。信他の言葉 で云へば已れの意識と外界と の印象を渾然統一し其れを働

回を閉いたのが康徳元年であ

金、卅 六 圓 (最終會費に充當)

戸	が特	
# (基集	
	が	X.
命	春	
卷	J.	
4	本	
H.		
*		
E .		
		ZKA

/ラ世まり倉川を目童な房を住

(適應) (適應) (適應) 大いれる トラホーム トラホーム たいの服長の治療に を効するを共に、機能 を効するを共に、機能

目ム炎炎薬科眼るな鋭新

Comments of the second of the

何へば眼脂が出る、白眼が赤く充血する、眼内が痛痒い、腰がにじむ、光線がたざれて鬱動しい――等の症状を覺がたされて鬱動しい――等の症状を覺れたら早速お手當が必要です。 と共に、その常用は實に強刺たる健眼の母胎ともなります。

店商置玉社會式株 ① 歐大蒜 店理代總

はやり目や、たいれ目が旺ん生理的なのぼせが加はつて、増しに强くなる光線の刺戟や





S-C-3

、態よ今日は申し込み締

浮り潭は桔梗を始め種々の

無工作により續々勝順しつよ 壊けつよある朝鮮人共産肥群 は日満軍の不斷の制限行と宣 は日満軍の不斷の制限行と宣

三、一般民間の建築に関して に就いても關係機關に於て 関係についても右と同様建 等に関し自庸自省せしむ 等に関し自庸自省せしむ 等に関し自庸自省せしむ

本十日(土)三笠校、十一日(日)白菊校、八島校、 櫻木校、普通學校▲三日(一世)全球が、西廣場校▲十 四日(水)新京中學、新京 一世)全球が、西廣場校▲十 一世(土)順天校 一世(大)館

猖紅熱撲

吸に必須の五ケ條

民の送迎、御通夜参列を望まれてゐる中央通を吉野町に折れ記念公會堂に安置、同夜午後中央通を吉野町に折れ記念公會堂に安置、同夜午後中央通を吉野町に折れ記念公會堂に安置、同夜午後中央通を吉野町に折れ記念公會堂に安置、同夜午後中央通を吉野町に折れ記念公會堂に安置、同夜午後中央通を吉野町に折れ記念公會堂に安置、同夜午後中央通を書いてゐる

の空氣清澄な丘のハイキン

月潭探勝は好評の的となり、浄月潭ハイキング並びに浮

不留者は遅れぬやう本日中 さへ添えて吾々を迎へま が写者は遅れぬやう本日中 さへ添えて吾々を迎へま がコース石が

(日曜土)

側の一般委員のほか于市長代人會館に於て開催、關係官廳人會館に於て開催、關係官廳

理、中銀總裁代理、常田興銀 東理事長、大島土建協會理事、日 大島土建協會理事、日 大名一、大島土建協自理事、日 大石、大統制原案を附 大島土建協自立た、本年 大石、大統制原案を附 大島土建工事も終りに近づき には、大島土建協自立た、本年 大田、本名の他関係 大島土建協自立た、本年 大田、本名の他関係 大島土建工事も終りに近づき には、土建工事も終りに近づき

秋祭りを中に挟んで

謳ふ兒童健康譜

日本側小學校の體

中止又は延期

ものは

建築統制原案決る

富家强國 專門別計畫案發表

本保險儲金 本保險儲金 本保險儲金 を特別取扱=官公署、 の負擔で多額の保險組合等に動め の負擔で多額の保險組合等に動め の負擔で多額の保險組合等に動め の負擔でないと出來ないと出來ない。 で五分の手敷料を観合には足險組合である、この の負擔でないと出來ないと出來ない。 で五分の手敷料を観合によと で五分の手敷料を観合によと には保險組合である、 で五分の手敷料を観合により で表し、この の負擔でないと出來ない。 で五分の手敷料を観合に と出來ない。 である、この と出來ない。 である、この と出來ない。 である、この と出來ない。 である、この とは に加入する に加入す に加入す に加入す に加入する に加入す に加

は本基関通) 張鼓峰事件につき満洲関政府より特派された ・高川関政府派遣慰問使張司法 部大臣、青木總務應法制處長 王内務局監督處長、朴外務局 上内務局監督處長、朴外務局 秋風立つ

なほ一般建築特に住宅等に對しては鐵、セメント等を使用しては鐵、セメント等を使用しては鐵、セメント等を使用 ント等の使用量すくなき 日午前八時十分約一時間延着 長頭の旅に疲勞の色も見せず 長頭の旅に疲勞の色も見せず 瞬頭へ出迎へた〇〇部隊長と 會談、豫定を變更して直ちに 現地部隊慰問のため自動車を 親つて右手に負帆、白帆の組 碧の海を展望しつム清津、羅

正勇山事件殿間使節張司法部大臣一行は九日鐵原に到着したが、午後零時卅分號總理宛 大臣一行は九日鐵原に到着したが、午後零時卅分京城源、直ちに軍司令 間別國一行は七日午後零時 卅分京城源、直ちに軍司令 に総督を訪問、そ 後六時五十分京城源、在 時卅分司令官主催の招宴に 時卅分司令官主催の招宴に

市内文廟特 市内文廟特 時半ごろい 時半ごろい

國境方面へ

州體育大會

州ルクルルクル 牡丹江省密山縣の鷄冠山保太 平郷村一二〇四號居住の農夫 尤德俊の妻呂美令(三六)は 大九徳俊の妻呂美令(三六)は 大月卅一日男子の三つ見を出 産した、三見ともごく元氣で 母乳が不足し、目下ミルクで 村つてゐるが近隣の者は三つ 見出生は関家吉祥の徴だと云 ふので大喜び省公署衛生科で

三割高

十字架狐(百二十圓より二百 銀狐に至つては最低二百圓か ら八百圓もする馬鹿々々しい 相場を示し節約時代の折柄「 とらぬ狸の皮算用ならぬ狐の とらぬ狸の皮算用ならぬ狐の「

優

2121 2121 221021

東任 挨び 東 任 挨び 東 任 挨び 文書課長

部來京

2121 2121

清津川通

最高の風晴ー

十事菅局滅 分務野文書 の 連載書 列絡氏課題 車のは長總 新京

不所禱會 終日國家官 布致します 於て神酒、



DISTRICT MANAGER WANTED Experienced Magazine Subscription Salesperson or Crew Circulation Managers possessing references as to past production and experience as District Managers for international American English and other leading magazines. Cars, offices and crews furnished qualified producers. Write giving references to M. A. STEELE, 700 Padin Building, San Juan, Puerto Rico, for full free details. Real territory projection, cooperation, highest commission.

> するニッケのタイ。今秋は堅 質な糾が基調色になってます 各色各柄が豊富に入荷。店内 HERITERADINAL BRITERAIRE

婆 歳以上の有資格 招

五

後 時 延

期

島山 柏重武義 會給白岡野野中中 久之郎太仁弘研 山山守梅高寺田

(者品出)

正牧小伊石林藤青

H

九月十四日二 梅 御期待乞ふ

滿鐵社員俱樂部 金料 一等等 三四

動付を取り出した。

「麻松螺子は、一麻松螺子は、一麻松螺子は、

「この書解が、大枚の金になるん

での時にや、無難の足を綺麗に洗

このまい髪に足

合け

(禁上旗 映演

之助

父さんの死水を取つて遣りてえ

れも出来れた他なんだ。

かして二人には郷つきの様まし

殿。

膝栗,毛

貨业勉强

產科婦人科

善

生堂醫院

診 院

硷

電③三一七一・六五三〇番新京吉野町 記念公會堂前

產





状を並べて概るのは







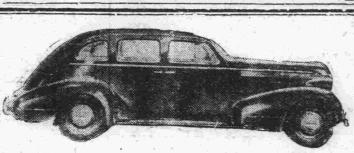








商品の御用達物製品カステーラ カネタ製麺拠工場 達



叮篮

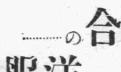
切。

親

京 二。四二五二③電 二五



れ流質用德御



三ノ三町祝京新 店質屋浦三

番五七七三③電

信用 自慢の 岡 聖話③五三四六〇 來る 店

新星及聖表持の御川は 電話②五一七八番 京 Œ ts.

シン 工業家施有應接セット点 大経路一〇七 機家具件器 ト卓稿子色々 電話。三國七九番 The sure sure



◇鰻かば焼こ丼◇ 食道樂 三笠町一丁目 悉 話③二九 题二番

唸を生じて大評判

味覺で立つ

青

0 銃後の貯蓄は 電話③電流三級

